

札幌学院大学バリアフリー委員会 バリアフリー通信

第7号



☆冬道講習会☆

12月6日(火)午後5時半よりA301にて、冬道講習会が行われました。まず始めに、車いす学生と介助経験者からの講演がありました。車いす学生は、なぜ通学・移動介助が必要なのかという説明と、普段の介助に対する本音や介助者への感謝の思いを話していました。介助経験者は、介助を始めたきっかけや介助を経験してきたことを話していました。参加者は着脱と通学サポートの説明を受けた後、2グループにわかれて冬道の介助と衣服の着脱を実際に体験しました。

介助体験は寒い中で行われましたが、参加者同士交流を深めながら笑顔で学ぶ姿が見受けられました。

(文責：坂本直)



♪クリスマス会♪

12月16日(金)の午後6時半より2204教室にて、クリスマス会が行われました。参加人数は約45人と多くの方が参加しました。

参加者はまずそれぞれのグループに分かれて、お菓子を食べながら雑談をしました。各グループが和気あいあいと楽しく話しているようでした。

次に2つの企画を行いました。1つ目の企画の「間違ったらドボンゲーム」は、今まで講習会で覚えた単語を使い、各グループの代表が前に出て企画担当者の手話表現が正しいかどうかを○×で答える、という企画でした。2つ目の企画は「早取り競争ゲーム」でした。これは二人三脚で、各グループの代表が前に置いてある人形を早く取ったグループが問題の解答権を得ることができる、という企画でした。どちらの企画も盛り上がっている姿が見られ、楽しく復習することができていました。

企画が終わった後は、企画の優勝グループの景品授与、毎年恒例となっているプレゼント交換をしました。

(文責：宇都莉奈)



♡ I Love BF ♡



今回の「I Love バリアフリー委員会」は、バリアフリー委員会4年生を代表して太田康文さん（人文学部4年）、小山内翔さん（人文学部4年）、堀明香里さん（人文学部4年）、本田彩乃さん（人文学部4年）の4名に集まっていただき、お話を伺いました。

※BF＝バリアフリー
BFC＝バリアフリー委員会

阿部：今回の内容は、大学3・4年間、BFCについての感想を聞きたいと思います。最初にBFにはいって、1番楽しかったこと。

小山内：1番楽しかったこと？あぁ、行事じゃないけど、友達が増えたこと。これが大学生活BFで1番良かったと思います。

堀：うちも、行事というよりも、たくさん人と語ったこと。それが印象に残っているかなと思います。

本田：なんだろうな……。2人も言っていたように……。飲み会が楽しかった。

太田：二人に近いと思うけど、BFにはいって、障害を持つ人と関わるのが初めてだったので、やっぱり障害をもった学生と関わったこと。これは大学生活で1番大きかったこと。

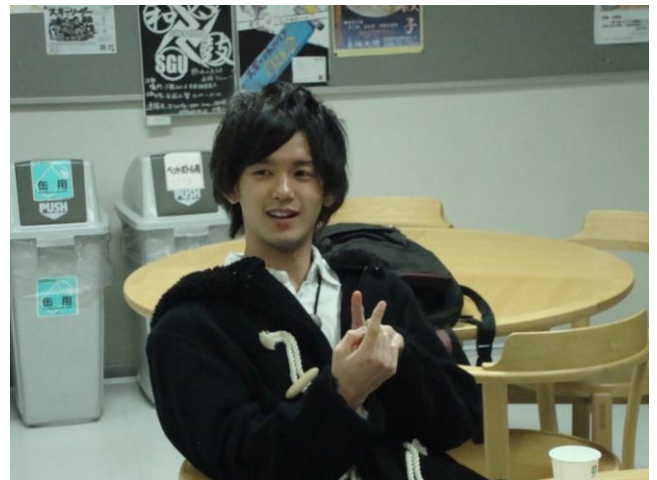
阿部：次に逆に辛かったこととか、後悔していることがあればお願いします。

小山内：なんだろう……。後悔したこと……。

阿部：辛かったことでも大丈夫です！

小山内：きつかったこと……。えーなんだろうな……。でも、色々な人と出会えたから良かったけど、逆にいろんな人と話をすることで障害を持った人も踏まえて、コミュニケーションに困ったときがありました。

堀：んー……。やっぱり手話を、やっていてなんか壁が、壁に当たったときがいちばんつらかった。手話が、手話通訳をやっていて、泣かされたこと



もあって、つらかったなーって、先輩にバーって言われて、なんか技術の面で、ちょっと違うんじゃない？っていわれて、何か嫌だなんていうか、辛くて、手話ってなんだろうとか、たくさん考えた。

阿部：すごいシリアスですね。手話って難しいですよ。

堀：むずかしい！伝える難しさって言うか、話すだけじゃないから。

阿部：次、本田さん。

本田：んー後悔？後悔したことは、3年のときに、BFの活動にほとんど参加してなかったのでもっと3年の時にBFについて考えてればよかったなって。

太田：2つだけ。1つ目が手話に関することで、自分がBFCにはいったのが、2年になってからで、自分の周りには、1年のときからBFをやっていて、自分が途中から入ったときに、周りが1年先だったから、難聴学生とコミュニケーションしているときに、自分がいたら、なにしゃべってるのかわかんない。ってときに、自分出来ないんだな。って感じたのが、手話をやりたいと思ったきっかけだし、今があるのもそれからだなんていうのと、もう1個は、介助部って言う部長を2年になって初めて任されて、堀もやってるけど、全く分からないままでやって、自分のときが介助部2年やったんだけど、学習部とかテイク統括部とかと違って、形ができあがってなくて、全く分かってないままでやって、堀とかとも毎日けんかして、寝るのもホントに夜遅くになったり、寝ないで大学に行ったりとかして、そのなかで介助もやったし、それは辛かったんだけど、その経験が障害学生と一緒に大学生活を送るための大事なことを考えさせられた。辛いんだけど、そこが1番、経験としては大きかったかなと。辛い結構（笑）そんな感じです。



阿部：ありがとうございました。次最後に、今BFCに入っている後輩にこれだけは言いたいこと。

小山内：めっちゃ悩む。どうするかな？決めた！後でまとめて欲しいんだけど、やっぱり大学にせっかく入って、BFを見つけて、せっかく入ったから色々な人と出会えてさ、1年から4年までいるけど、言いたいことは、みんなで仲良く楽しく何でも、取り組んで欲しいなと思っていて、何か合わない人とか、いっぱい大学内にもBFにも居ると思うんだけど、やっぱり楽しくやらないと何も楽しくないし、つまないとしたらなんでもつまらないから、でも皆仲間なんだし、一会員として、皆で楽しく何でも取り組んでもらいたいと思います。

阿部：ありがとうございます。

本田：えっと、なんか先輩から、コレだけは伝えたいっていても、聞かない人もいると思う・・・んだけど、だからこそ経験をしてほしいと思います。自分で考えて、仲間を作って行

動して、色々あるとは思うけど、何か学んで欲しいなと。そのためには経験が必要・・・まあそれだけかな？

太田：伝えたいことは、このBFCって本当に貴重だと思う。普通の学生と障害を持った学生と一緒に活動するって、社会に出たら中々ないと思うんだよね。手話で会話とか、介助を普通にとか、普通の人が見るとすごいなと思うんだよね。そういう経験をBFCに入っている人はしているし、それはすごいことだということ、それはやっぱり簡単じゃない。障害を持った人の考え方とか、持っていない人の考え方とか、色々な価値観が集まる中で支援を行うことはむずかしい、でもその中で考えることをやめるとか、実際に支援を辞めるとか、辛いとか言うけど、その辛いの中に、BFCの活動のやりがいがあったり、形だけでもつなげて行って欲しいなと思います。堀ラスター（笑）



堀：なんていうんだろう。ずっと自分らしくいてほしいなって思います。なんかうちも、この大学生活の4年間を振り返ると、自分って何だろうって、一生懸命になればなるほど、自分って何でできないんだろうとか、解決したいって言うかさ、やりたいんだけど、自分の悪いところがあってできないとか、色々壁があると思うんだけど、そのときは落ち込んでいい。できないことばかり目を向けるんじゃなくて、自分ってここができるなとか、自分なんて・・・って思わないで欲しいなって思って。あ、そう！誰かになりたいとか、思わないで欲しいって言うか、あの人すごい！とか、私は出来ない、とかあるけど、それを目指すのもひとついいけど、でも自分のベースはきちんと持って、できることをやって欲しい。無理はしなくて良いと思いました。あ、ちがうか？できることだけやれってこと。投げてもいいから、「自分ここから他の人コレやって」みたいに、仲間を使って、それぞれの長所を生かして、皆で、協力して頑張るって欲しいなって思いました。おわり。（拍手）すいません長くなりました。

阿部：今日はありがとうございました。これからもまたBFCに来て、後輩たちと触れ合いとかおしゃべりとかしてほしいと思います。仕事頑張ってください。



取材：阿部直也
記録：藤田和真
撮影：坂本直



☆編集後記☆

坂本直：人が少なくでのんびりした編集でした。I Love バリアフリーの写真撮影も楽しかったです！

石井建雄：I Love バリアフリーの記事を見て、改めて大田さん・小山内さん・堀さん・本田さんに一生付いて行こうと思いました！そして直ちゃん広報部部长おめでとう！！（パチパチパチパチパチ）

阿部直也：今回が最後のバリアフリー通信です！3人という驚異の少なさでしたが、思ったよりサクサクサクサクいけました！！写真選びもかなり盛り上がりました！

広報部の皆さん、1年間お世話になりました！！



1年間バリアフリー通信をご覧になり、ありがとうございました！



**来年度も広報部とバリアフリー通信を
よろしくお願ひします!!**

